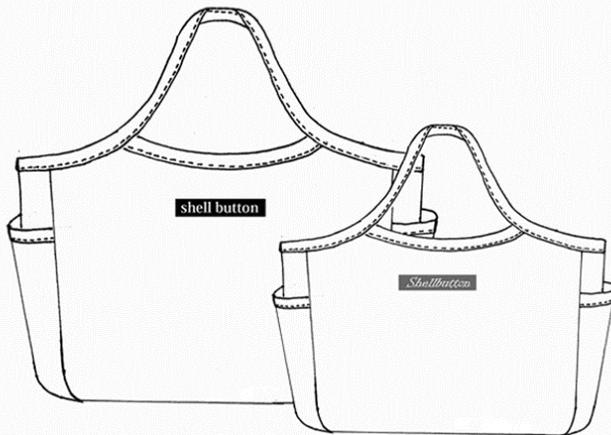




SB25A

バケットトート
Bucket Tote



個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮ください。

Please do not copy and resell

パターンショップ Shell button <http://www.shellbutton.net/>
Copyright(c)2009- pattern shop Shellbutton all rights reserved

縫い代について

パターンは全て縫い代込になっています。

パターン内にある数字は、縫い代を表します。

その数字分、出来上がり線から縫い代を足して、型紙を作成しています。

出来上がりサイズ・必要用尺

【単位:cm】

	縦	横	マチ	表地	裏地		テープ(幅 3cm) 肩掛けの場合/持つ場合
					見返し	裏本体	
L	24/27	33	14	0.5m	0.1	0.9	2.4m / 2.2m
S	20	25	11	0.3	0.1	0.8	2.1 / 1.8

※大の縦は、2 通りあります。

※見返しと裏地本体を同じ生地で作る場合は、それぞれの用尺を足してください。



パターンショップ Shell button <http://www.shellbutton.net/>
Copyright©2009 pattern shop Sh-ellbutton all rights reserved

その他必要な物

- ファスナー … 18cm 1本
- マグネットホック … 1個
- 底板(ベルポーレンや厚紙など) … 大:32cm×13.5cm 小:25cm×10.5cm 各1枚
- テープつなぎ目を覆う用のテープや革 … 適宜

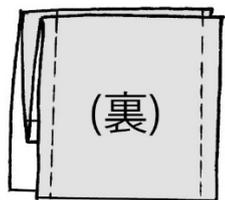
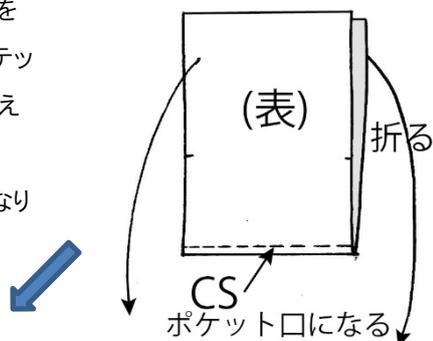
縫い方手順

- 端処理は、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することです。
- コバステッチ(CS)とは、端から3mmぐらいまでの所かけるステッチのことです。

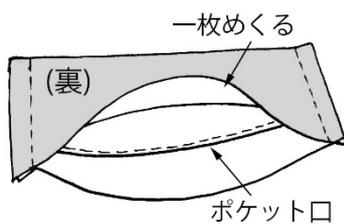
1.内ポケットを作ります。

【シンプルポケット】

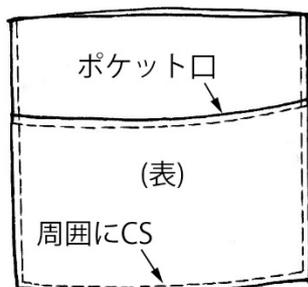
- ①内ポケットAの長さを半分に折り、コバステッチ(以後CS)で押さえます。これがポケット口になります。



- ②図の様に、印の所で折りたたみ、両端を縫います。

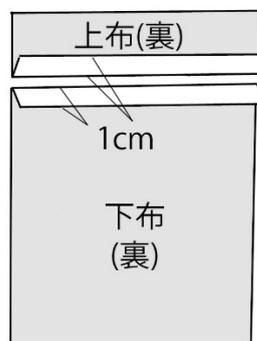


- ③一枚めくったところに手を入れ、ひっくり返します。



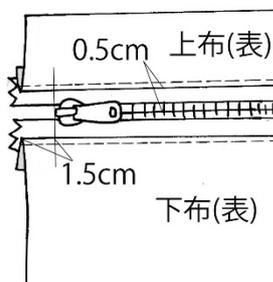
- ④アイロンで形を整え角は目打ちなどで綺麗に出して、両端をCSで押さえます。

【ファスナーポケット】



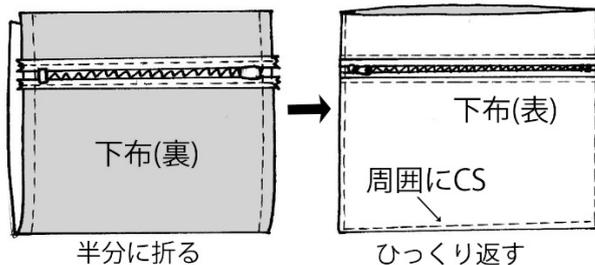
- ①上布、下布の1辺を、アイロンで1cm折ります。(ファスナー口になります)

ファスナー押さえに変えます。



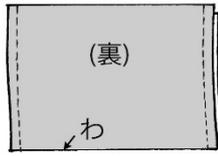
- ②上布、下布それぞれ、両布端の1.5cm入った所にスライダの端が来るようにして、更にムシの中心から0.5cmの所に折端が来るようにして合わせ(計1cmファスナーが見えます)、CSで縫います。

- ③中表になるようにして半分に折り、両端を縫い合わせます。表に返し、角を目打ちなどで綺麗に出しアイロンで整えます。周囲にCSをかけ、押さえます。

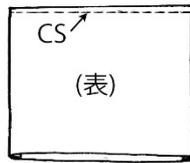


【携帯ポケット】-----

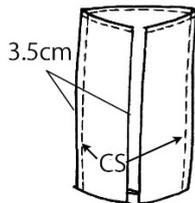
①中表になるように二つ折りにして、両端を縫います。



②表に返してアイロンで整えたら、ポケット口に CS をかけます。



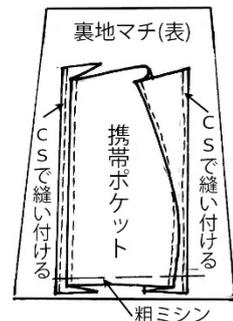
③端から 3.5cm のところを山折りにして、CS で押さえます。



④③の折り山と端をそろえるようにしてアイロンで押さえます

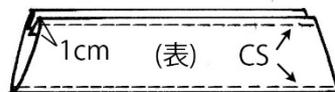


⑤裏地マチ(表)に、携帯ポケット付け位置に合わせて、ポケットを乗せます。両端を CS で縫い付けます。下端は、粗ミシンを生地端から 0.5cm の所にか、仮止めします。



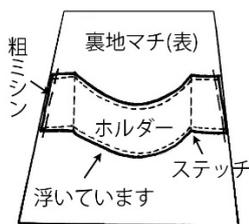
【ボトルホルダー】-----

①アイロンで、両端を 1cm 折ります。さらに、中央で二つ折りにします。



②折り目をコバステッチで押さえます。

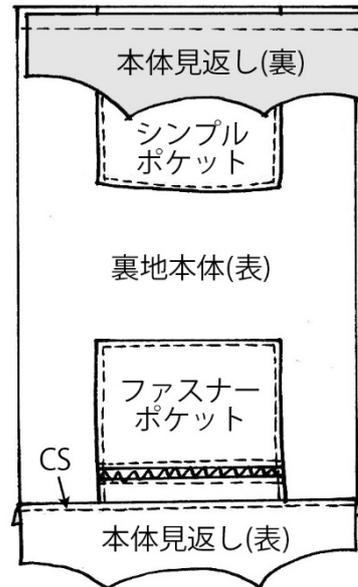
③裏地マチ(表)に乗せ、粗ミシンを端から 0.5cm の所にか、仮止めします。更に、ステッチをかけて固定します。



ステッチ位置は、端から以下の所です。(単位:cm)

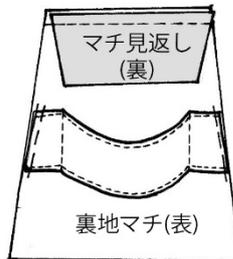
大...上 2、下 2.5
小...上 下

2. 裏地本体と裏地見返しを縫い合わせます。



①裏地本体と本体見返しを中表で合わせます。その間に、シンプルポケットとファスナーポケットを挟みます。ポケット口が見返しと合わさるようにして、挟んでください。縫い合わせます。

②本体と見返しを開き、縫い代を見返し側へ倒して、表から CS で押さえます。



③裏地マチとマチ見返しを中表で合わせ、縫い合わせます。

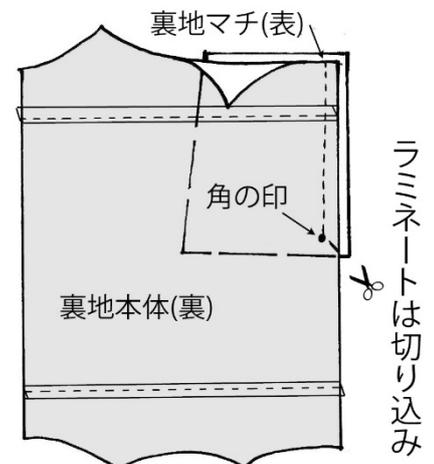
④本体と見返しを開き、縫い代を見返し側へ倒し CS で押さえます。

※以後、本体(マチ)と見返し(マチ見返し)が縫い合わさった物を、それぞれ「裏地マチ」、「裏地本体」と言います。

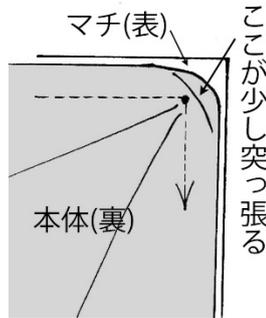
3 裏地を仕上げます。

①裏地マチが下になるようにして、裏地マチと裏地本体の角を、中表で合わせます。角の印まで縫ったら、針は刺したまま押さえを上げて、本体生地を回し、マチの底と合わせます。

※ラミネートは、予め角に向かって切り込みを斜めに入れておきます。

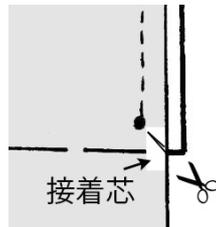


角が突っ張りますが、次の角の印を待ち針で合わせ、自然に整えて、押さえを下し縫い進めます。



♪Point♪

角が突っ張って縫いにくい方は、あらかじめ小さく切った接着心を本体の裏に貼り、切り込みを角に向かって5mmほど入れると、かなり軽減できます。



次の角も、同じようにして縫い、バッグ口まで縫います。

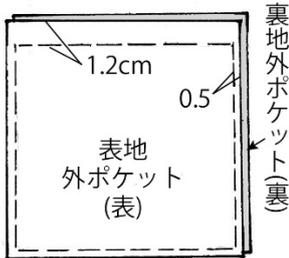
- ②反対側も同じようにして縫います。
- ③内側が表になるようにして整えます。角は、目打ちなどで綺麗に出しておきます。

裏地は出来上がりです。

4.表地の外ポケットを付けます。

【ポケット口をテープで包む】-----

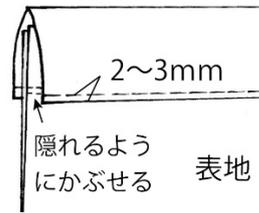
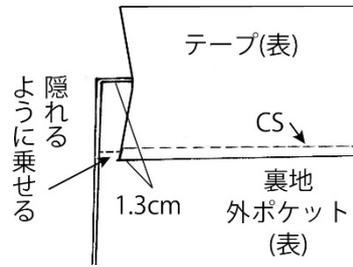
- ①外ポケットの表地と裏地を外表で重ねます。
ずれないように周囲を0.5cmの縫い代で粗ミシンをかけ仮止めします。



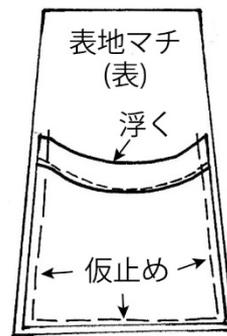
♪Point♪

ポケット口になるところは、1.2cmの所にミシンをかけておくと、後からテープをくるむ際の目安になります。

- ②裏地側にテープを乗せます。端から1.3cmぐらいの所にテープの端が来るようにします。
- ①で1.2mmのガイドラインがあるので、そのミシン目が隠れるように添わせて乗せて下さい。CSで、縫い付けます。(右上挿絵参照)



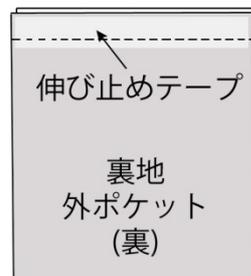
- ③表側にテープを折り返し、2本のミシン目が隠れるようにして折ります。テープ端から2~3mm入った所にステッチをかけると、裏側のテープからミシン目が落ちずにかげれます。



- ④表地マチの(表)にポケットを重ね、ポケットを仮止めたステッチ線に重なるようにして再度粗ミシンで仮止めします。

【ポケット口をテープで包まない】-----

※ポケット口に、縫い代1cmを足し、裁断します。



- ①裏地の(裏)のポケット口に伸び止めテープを貼ります。
- ②外ポケットの表地と裏地を中表で重ね、ポケット口を1cmの縫い代で縫い合わせます。
表に返し、裏地を控えるようにしてアイロンで押さえ、表からCSをかけます。
- ③表地マチの(表)にポケットを重ね、ずれないように周囲を0.5cmの縫い代で粗ミシンをかけ仮止めします。(包む場合の④挿絵参照)

5.表地を仕上げます。

※表地を「わ」裁ちしなかった場合は、表地本体を中表に合わせ、底を1cmの縫い代で縫い合わせます。縫い代は割ります。





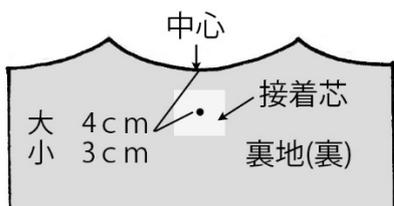
①裏地同様、マチが下になるようにして、表地マチと表地本体の角を、中表で合わせます。
 角の印まで縫ったら、針は刺したまま押さえを上げて、本体生地を回し、マチの底と合わせます。
 角が突っ張りますが、次の角の印を待ち針で合わせ、自然に整えて、押さえを下し縫い進めます。
 次の角も、同じようにして縫い、バッグ口まで縫います。
 (P4の手順3挿絵参照)

- ②反対側も同じようにして縫います。
 ③内側が表になるようにして整えます。角は、目打ちなどで綺麗に出しておきます。

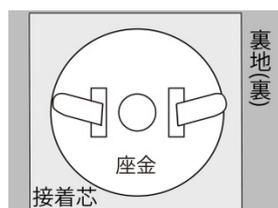
6.口タブを作ります。

【バッグに直接マグネットホックを付ける場合】-----

①マグネットホック付け位置辺りに3cm角ぐらいに切った接着心を貼り、マグネット付け位置の印を付けます。



②座金の中心がマグネットホック付け位置に来るようにして乗せ、ホックの足が刺さる部分の印を付けます。

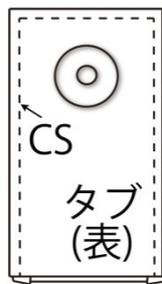


③印を付けた部分を、カッターかはさみで切りこみを入れ、マグネットホック本体を(表)から差し込みます。裏に出た足に座金を通し、足をペンチで倒します。

【タブにマグネットホックを付ける場合】-----



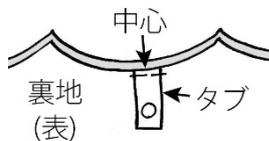
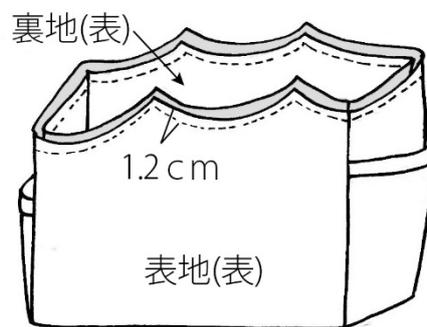
①タブの両端を、1cmアイロンで折ります。



- ②マグネットホックを、「直接付ける場合」の手順を参考にして、タブに取り付けます。
 ③中央でタブを半分に折ります。
 ④両端をCSで押さえます。
 ※マグネットホックが押さえに当たる場合はファスナー押さえに変えて下さい。

7.表地と裏地を合わせます。

- ①バッグの表地の中に裏地を入れ、外表で合わせ、バッグ口を1.2cmの縫い代で縫い合わせます。
 仮止めなので、粗ミシンで構いません。



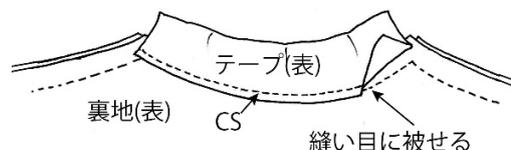
この時、タブを付ける場合は、タブを、裏地側に一緒に縫い付けておきます。

8.テープで包みます。

- ①テープを右の長さに切り分けます。

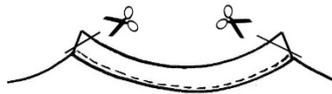
大	9cm×2
小	7cm×2

- ②中央の短いカーブ部分を、切り分けたテープで包みます。
 裏地側にテープを乗せます。端から1.3cmぐらいの所にテープの端が来るようにします。
 表地と裏地を縫い合わせた時の1.2mmのステッチがあるので、そのミシン目が隠れるように添わせて乗せて下さい。
 CSで、縫い付けます。



③表側にテープを折り返し、2本のミシン目が隠れるようにして折り縫いとめます。(P4 手順 4「ポケット口をテープで包む」参照)

④テープの角を切り落とし、バッグのラインとなだらかにつながるようにします。



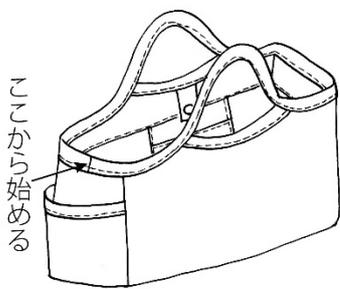
表地(表)

⑤同じ要領で、バッグ全体を包んでいきます。

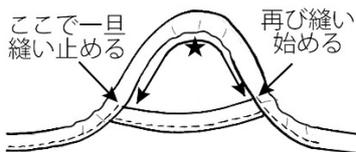
裏地側にテープを乗せ、マチの中心から縫い始めます。持ち手部分(★)は、表の長さ分テープを縫い残します。

	肩掛けの場合	持つ場合
大	40 cm	30 cm
小	40 cm	25 cm

続けてぐるり一周縫い付けます。最後は、縫い初めのテープ端に 5mmほど重ねるようにして縫い付け、テープを切り落とします。



ここから始める



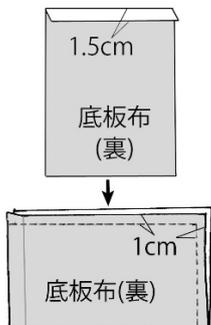
裏地(表)

⑥表側にテープを折り返し、2本のミシン目が隠れるようにして折ります。持ち手部分は、テープのみ半分に折り、縫います。ぐるり一周縫います。



⑦つなぎ目部分に、テープや別布をかぶせて、隠すようにします。綾テープやリボンや革などをカットして使うと、簡単にできます。

9. 底板を包みます。

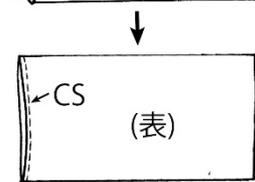
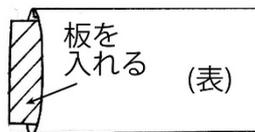


①一辺を 1.5cm アイロンで折っておきます。

(板の入れ口になります)

②中表に折り、端を縫います。

(①で折った反対側を縫って下さい)



③表に返し、アイロンで整えます。底板を入れます。

④口を、①で折り返した線で折り、CS で縫いとめます。

出来上がりです♪

是非、掲示板でご紹介くださいね。楽しみにしています。

---ラミネート生地を使用する際のポイント-----

- 針と糸 … #14～#16 の通常より太めの針とその針に合った糸を使います。縫い目は、やや粗目で縫います。
- 押さえ … テフロン押さえに換えるか、生地の上にトレーシングペーパーを置いて縫う。
下側は、送り歯部分をくり抜いた紙を貼るか、生地の下にもトレーシングペーパーを敷く。
- 糸調子 … 上糸をかなり強めに設定。
- 留め … ソーイングクリップや両面テープ。待ち針は生地が固いので不向き。

